



国際化の最前線から



日本の「誇れる製品」を世界へ！

日本国内の人口減少や高齢化に伴い、国内市場は縮小傾向にある。その結果、長年受け継がれてきた商品や技法の継承者がいなくなり、地域の魅力ある伝統工芸や産業が衰退の危機に瀕している。

国内市場の縮小を補うために海外市場に新たな販路を求める企業が増えており、各自治体は成長著しい越境EC（インターネット通販サイトを通じた国際的な電子商取引）による輸出支援などを行っているが、多くの企業は人材や資金が十分ではないために海外販路開拓の一步を踏み出すことが難しく、地域活性に積極的な自治体は課題意識を持っていると聞く。

「海外展開ハイウェイ」は2016年に中小企業庁の企画を起源とし、海外販路開拓を促進することを目的に開発され、2018年6月から本格的に運用を開始した。

一番目の展開国はアメリカ。理由は市場規模が大きくリスクが明確であること。アメリカのEC規模は中国に次ぎ世界第2位で日本の約5倍。かつ、EC利用者数は約2億人と日本の総人口より多い。また、流通規制が明文化され変更が少ないのでリスクに対応しやすいことが挙げられる。

「海外展開ハイウェイ」は物流と商流をセットとすることで企業の海外販路開拓を阻む8つの障害をまとめて解決する今までにないサービスであり、2018年12月にビジネスモデル特許を取得した。

「貿易事務の代行」、「まとめ輸送」、「海外在庫」の3つの特徴を軸に、従来の越境ECよりも「簡単明瞭」

日本通運株式会社事業開発部 課長 坂本 浩一

で「低コスト」な海外販売を実現する。英語での商品登録、消費者からの問い合わせ対応、海外PL保険の付保などのサービスがパッケージとして含まれており、利用する企業は負担が軽減する。利用社は75%以上が海外販売未経験企業である。このことは海外販売の経験がない企業でも安心して利用できることを物語っている。

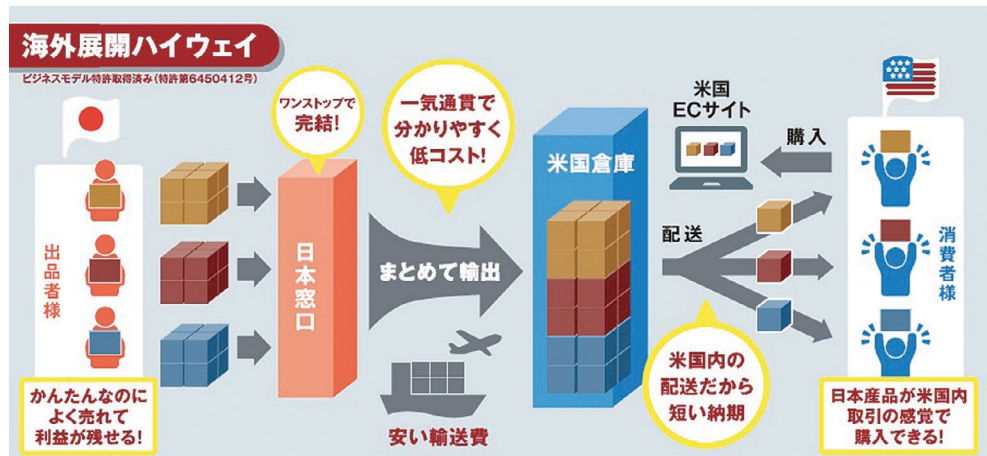
日本通運は、「海外展開ハイウェイ」が地域の魅力ある伝統工芸および産業の継承や地域経済の活性化など、社会の課題解決の一助となることを願い、今後も海外への販路拡大に意欲的な企業を、自治体と協調して積極的に支援していく。

プロフィール

坂本 浩一（さかもと ひろかず）

日本通運株式会社 事業開発部 課長

- ・1966年生まれ 1990年に日本通運入社。長年旅行業務に携わり、日本各地の良い製品や外国人の趣向に触れる。
- ・2017年から新規事業の開発を行う事業開発部に在籍し、海外展開ハイウェイ担当者として、海外販路開拓を希望されている皆様の支援に取り組んでいる。



海外展開ハイウェイのながれ